

## 道徳教育改善・充実総合対策事業公開研究会 【平成28年10月17日（月）】



### ○生徒の振り返り（中学1年B組 主題名「雨の日の届け物」2—（3）友情・信頼）

- ・友達とは、一緒にいたいときはいられて、いたくないときは気まづくならず、別々に過ごせる人のことだと思います。お互いのことを考えて行動するのも大切だと思います。また、思ったことを素直に伝えることができるのも大切です。悲しんだり、イライラしたりしているときは、ちゃんとぐちを聞いてくれる人も友達だと思います。
- ・相手のことを思いやれたり、お互いに高め合えたりする関係でありたいです。
- ・私が落ち込んでいるとき、励ましてくれるのは友達かもしれません。部活動でも、失敗したら「ドンマイ」「ファイト」などいつも声をかけてくれます。時々、すれちがったり、けんかになったりするけど、私にとって一番近くにいてくれる友達は、かけがえのない大切な人です。

### ○成果と課題

- ・導入場面で、主題に対する問題意識を持たせることで、授業を通して子どもたち一人一人が当事者意識をもって、学習に臨むことができた。しかし、問題意識をもつことができる生徒に個人差が見られた。指導者が、より子供の実態に合った教材文を選択する必要がある。
- ・「話し合い活動」を授業に積極的に取り入れたことで、互いに相手の立場を尊重しながら、思いや考えを自分なりの言葉で伝え合う意識が高まった。そのことが、グループや全体で意見を話し合うことにつながり、問題を解決する力が高まった。しかし、興味関心がわからない発問や、すぐに解決できる発問も多い。児童生徒が、意欲を持って「問題解決学習」に取り組むことができる発問の工夫が必要である。